

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	やむを得ない身体拘束をしている利用者のケアプランの中に、身体拘束をなくすための明確な目標と支援内容が明記されていない。	ケアプランの中に、身体拘束をなくすための具体的な目標と時期の明確化を明記し、統一した支援ができるようにする。	・身体拘束を要する利用者の再アセスメントを行い、ケアプランの見直しと、具体的に拘束をなくす為の支援内容と時期等の目標を立てる。さらに全スタッフが介護計画に沿った統一した支援ができるようにする。	3ヶ月
2	26	ケアプランに沿った支援記録が、モニタリングに十分に活かされていない。記録が介護計画作成に活かされるように工夫が必要である。	個々のケアプランに沿った具体的な支援の内容とその結果を、日々正確に記録する。さらにモニタリングの際に確認し十分に役立てる。	・利用者の個別のケアプランの内容を確認する。利用者の記録は、日々の生活の様子に加え、個々の支援目標と支援内容に沿った取り組みとその結果について、所定の書式に正確に記録する。記録類の書式の見直しを検討する。	3ヶ月
3	45	入浴は一日おきにしているが、希望があれば毎日入浴ができるという事を情報提供していない。	希望すれば毎日入浴ができる事を、利用者にわかりやすいように明示する。	・毎日の入浴ができる環境作りについて検討する。利用者の入浴の意思確認ができるように、入浴の希望日を書き込める表を掲示する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。